

授業科目(ナンバリング)	教師論 (QA121)		担当教員 担当形態		乙須 翼 単独					
教員免許状取得 のための選択の別	必修		単位数	2 単位	開講 年次	1 年	展開 方法	講義 (遠隔)	開設 時期	前期
科 目	教育の基礎的理解に関する科目									
各科目に含める ことが必要な事項	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)									
授 業 の ね ら い									アクティブ ラーニング の 類 型	
本授業では、教職を目指す学生が教員の基本的な職務を理解した上で、教職の意義や役割を自覚し、教職の専門性や現代社会で求められる教員像とは何かについて考察できるようになることを目標としている。また本授業では、学生同士の討議、学生によるスピーチなど様々な経験を通して、教職を目指す学生が自己の適性と照らし合わせた上で教職という進路について検討できるよう導きたい。									⑤⑦⑩⑪	
ホスピタリティ を構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・ 方法		評価 比率		
専門力	教員の職務について法的、制度的、歴史的に説明することができる。 教職の専門性や現代日本社会で求められている教員像を理解し、教 職の意義や役割について自覚することができる。					随時試験 スピーチ		30% 10%		
情報収集、 分析力	授業内外で教職という進路に関わる様々な情報を収集し、それらの 情報をもとに自分自身の進路を検討することができる。					授業への参加		15%		
コミュニケーシ ョン力	設問に対する解答や自分の見解を、適切な語句や表現を用いて論理 的に説明することができる。 他の学生の意見に耳を傾けながら、自分の意見や考えを明確に伝える ことができる。					授業への参加 授業への参加		10% 5%		
協働・課題解決力	新聞やニュースなどで報道される教育問題に関心を持ち、常に学び 続けようとする姿勢で授業に参加することができる。 過去の経験や自己の適性を内省的また客観的に振り返り、教職を目 指す者としての自己の課題を認識することができる。					授業への参加		30%		
多様性理解力										
出 席						受験要件				
合 計						100%				
評価基準及び評価手段・方法の補足説明										
「授業への参加」については、コメントや課題の提出、授業内での討議や発表、グループワークなど授業への取り組みを多面的に評価する。評価対象としては、授業で作成・収集した資料を蓄積・保存した「教師論ポートフォリオ (manaba)」を主な対象とする。「教師論ポートフォリオ」の作成方法や内容に関する説明、フィードバックは授業中に適宜行う。										
授 業 の 概 要										
<ul style="list-style-type: none"> ・教員という職業を法的、制度的、歴史的に理解する。 ・教員の役割や責務、職務の内容を確認し、教職の意義について考える。 ・現代社会で求められている教員像や教員の専門性について、教育改革の動向も参照しながら考える。 ・教員という職業について他職種との比較等も交えながら多面的に考える。 <p>授業は配付資料を用いて講義形式で進めるが、グループワークや学生同士の討議、学生によるスピーチ等も取り入れて行う。なお、この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>										
教 科 書 ・ 参 考 書										
<p>教科書：特に指定しない。授業中、適宜資料を配付する。</p> <p>参考書：油布佐和子『現代日本の教師—仕事と役割』放送大学出版会、2015年。 秋田・佐藤編著『新しい時代の教職入門 改訂版』有斐閣、2015年。 指定図書：佐久間・佐伯編著『現代の教師論』ミネルヴァ書房、2019年。</p>										
授業外における学修及び学生に期待すること										
教職を目指す学生には、新聞やニュースなどで報道される教育問題について常に関心を持ってもらいたい。法律や制度など難解な部分も含まれるが、教員として理解しておくべき重要な内容であるため、参考書などを用いて理解を図るなどしてもらいたい。受講生には、教員というやりがいも責任もある職業を目指すものとしての自覚ある態度を期待する。また受講生は授業を通じて、自己の教員としての適性と進路を見極めてほしい。										

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	教員免許の取得を目指して	授業の概要と進め方、教職課程、採用試験について (履修モデル、免許状の種類、採用試験の動向等) 今求められる教員の資質能力について (教員に関する答申の確認等)	予) シラバスの確認 復) 受験予定地の採用試験の方法について調べる
2	現代社会と教職	子どもを取り巻く日本社会の現状 (日本の教育制度の確認、各種データ(子ども・学校・家庭関連)の検討等)	予) 日本の子ども達の現状について考えておく 復) 関連データの復習
3	教員の職務①	教員の使命とサービス (教育に関する基本的な法律の確認、教員の身分・使命・義務・処分等)	予) 教員の使命について考えておく 復) 基本的事項の復習
4	教員の職務②	教員の勤務・給与 (教員の勤務・待遇・給与等)	予) 教員のサービスについて考えておく 復) 基本的事項の復習
5	教員の職務③	教員の力量形成 (研修、教員評価、ライフコース等)	予) 「学び続ける教師」について調べておく 復) 基本的事項の確認
6	教員の職務④	学校運営と教職員組織 (各教職員の職務、校務分掌、同僚性、学校評価等)	予) 「チーム学校」について調べておく 復) 基本的事項の確認
7	教員の専門性①	教員像の歴史の変遷 (近世～戦前～戦後)	予) 日本教育史の予習しておく 復) 基本的事項の確認
8	教員の専門性②	教育改革と教員の専門性 (免許更新制、教職大学院、教職の国際的動向等)	予) 教職課程改革について調べておく 復) 基本的事項の確認
9	教員として①	教員に求められる倫理 (体罰、ハラスメント、ジェンダーに関する意識等)	予) 教員に求められる倫理について考えておく 復) 自己の教員としての進路と適性を考える
10	教員として②	職業としての教職 (ワークライフバランス、教員のメンタルヘルス等)	予) 教職に就いた自分の人生を想像してみる 復) 自己の教員としての進路と適性を考える
11	教員として③	教員の日常業務と教員の苦悩と喜び (教員の手記・実践記録等の検討)	予) 教員の苦悩と喜びについて想像してみる 復) 自己の教員としての進路と適性を考える
12	教員として④	ケース・スタディ (学校が抱える課題と教師の役割についての討議)	予) 配布資料の予習 復) 自己の教員としての進路と適性を考える
13	省察	教師を目指す自分を振り返る (取組の自己評価、他の受講生との意見交換等)	予) 「教師論ポートフォリオ」を整理する 復) 自分の取組を振り返る
14	教員として⑤	理想の教員とは、教員の専門性とは (学生によるスピーチ)	予) 発表準備 復) 自己の教員としての適性と進路を考える
15	教員として⑥	理想の教員とは、教員の専門性とは (学生によるスピーチ、小テスト(随時試験)の実施)	予) 小テストの準備 復) 全 15 回の授業を振り返る